

一般質問通告書

令和4年11月24日

午前10時00分受領

質問順位

1

会派名

日本共産党

質問の件名

一般質問

質問方式

一問一答方式

質問の要旨

別紙のとおり

答弁を求める者

市長ほか関係理事者

上記通告します。

令和4年11月24日

尾道市議会議員 岡野長寿 印

尾道市議会議長 高本訓司様

質問項目 12月議会 一般質問 岡野長寿（日本共産党）

1) インボイスについて

- (1) 市内の課税売り上げが1,000万円以下の事業者の数はいくらか
- (2) インボイス実施で何社が事業を継続できなくなると考えているか。
- (3) インボイス実施によっていかなる影響が起きるか、市内小規模事業者の実態調査を実施するべきではありませんか。
- (4) インボイス制度の実施を中止、または延期するよう国に要請するべきではありませんか。

2) マイナンバーカードについて

- (1) 保険証をなくさないでほしいという声があるがどう対応するのですか。
- (2) 未だオンライン資格確認システムを導入していない医療機関は市内でいくらありますか。何%にあたりますか。
- (3) システム導入費用は誰がもつのですか。市は補助金を出すつもりがあるのですか。
- (4) 一律強制のやり方は問題があると思いませんか。

3) 夜間景観について

- (1) 光の害＝光害をどうみていますか。
- (2) 一定の調整が必要ですが、現在どのような方針を持っていますか。
- (3) 一定の地域を特定して、コントロールを強化すべきではありませんか。

4) 物価高騰から市民の営業、くらしをまもる独自予算を

- (1) 小規模事業者すべてに5万円程度の物価高騰事業継続支援金を支給するか
- (2) 国民健康保険料を引き下げるか（1人1万円程度）
- (3) 介護保険料を引き下げるか（それぞれ10%程度）
- (4) 給食費をコロナが収まるまで無償化するか

5) 小中一貫校計画について

- (1) 学校配置計画はまちづくりと調和のとれた形で、保護者、地域住民の合意形成に基づいて行われなければならないと考えるか。
- (2) 今後合意形成をどのように行うのか（説明会など）。
- (3) A案は検討したか。その中身はどうか。
- (4) A案とB案の財政的推計はどうか
- (5) A案とB案ではどちらが、保護者、住民の理解が得られやすいか。

以上